

会議録：「令和3年度第2回恵那市産業振興会議」

日時：令和4年1月13日（木曜日） 16：00～17：05

場所：恵那市役所第2委員会室

参加者：出席11人（別紙参照）

1. 開会

○事務局「令和3年度第2回恵那市産業振興会議を開会します」

2. 会長あいさつ

○森岡会長「前回の令和3年度第1回産業振興会議では、新ビジョンの体系について事務局より説明があり、委員の皆さまに活発にご議論をいただきご承認いただきました。今回、その議論を踏まえ事務局から施策の方向性や新たに取組む事業についての説明があるためディスカッションしていただきたい。なお今回の会議で最終的なビジョン案が策定されるとご認識頂ければと思います。ご協力よろしく申し上げます。」

3. 市長あいさつ

○小坂市長「ご多用にも関わらずお集まりいただき感謝致します。まずは新型コロナウイルス感染症に関して状況を説明させていただきます。新聞報道である通り恵那高校にてクラスターが発生し多くの感染者が出ています。本日も複数の感染者が報告されています。また恵那高校の生徒の感染が拡大していることに伴い、両親が仕事を休むことになったり、小中学校に通う兄弟が出席できないという状況が起きています。この状況が続くエッセンシャルワーカーが仕事を休むという状況が生まれれば社会機能全体が機能不全に陥る可能性があります。何とかここで食い止めていきたいと考えています。

第2産業振興ビジョンについてはSDGsやグリーン、デジタル、コロナなどの新たな要素が加わっています。このような課題に市としてどのように取り組んでいくかが大きなテーマとなっています。これらの課題から目を逸らすのか正面からぶつかるのか今後の恵那市にとって大きな差になって現れてきます。新ビジョンではこのような課題に対し真正面から取り組んでいくという姿勢で担当課では計画を策定しています。

現在、令和4年度当初予算の編成が大詰めの段階であるため、施策の方向性及び新たな取組みについて本会議でご承認いただければ来年度以降しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いたします。

4. 前回会議の補足説明

○事務局「前回会議の中で事務局から説明した「滞在人口率」について、会長より、一時点の数値を表すストックのデータのみではなく、一定期間の数値を表すフローのデータがあればより理解が深まるとのご指摘がありました。そのため詳細な資料を作成したため議事に入る前に事務局より説明をさせていただきます。」

○事務局

・資料_別紙1「恵那市の滞在人口率について」を説明。

「前回会議の説明が「高い滞在人口率」を強調するような内容となっており、分かりづらいものとなっていましたが、恵那市の強みである多くの来訪者の、滞在時間や周遊性を高める施策を新ビジョンの中に一つの視点として盛り込み事業に取り組んでいきたいと考えています。」

○委員「(3)の施策の方向性の②に恵那峡 SA を目的地にとありますが、DMO の Destination として捉えた場合、無料で入ることができる道の駅は Destination となり得ますが、高速でしか行けない恵那峡 SA は Destination としてなり得るか？」

○事務局「恵那峡 SA そのものが目的地というものではなく、恵那峡 SA に休憩やお土産を買うために立ち寄った方が高速をおり、恵那市の観光地や店舗等に立ち寄ってもらうための施策が必要という趣旨となります。」

5. 議事

○事務局「ここからの進行は森岡会長にお願いします。」

○会長「議事に移ります。『第2次産業振興ビジョンに基づく施策の方向性及び新たに取組む事業について』事務局からの説明をお願いします。」

○事務局

・資料1「**第2次恵那市産業振興ビジョンに基づく施策の方向性及び新たに取組む事業について**」を説明。

○会長「ただいま事務局から第2次産業振興ビジョンにおける施策の方向性と新たに取組む事業について説明がありました。継続する事業と新たに取組む事業と分けて説明をいただきました。ご質問やご意見はございませんか。」

○委員「P5の戦略2の施策1の新たに取り組む事業として「I. 中心市街地活性化プロジェクト」があり、具体的な内容として空き店舗を活用したチャレンジショップ等の賑わいの拠点の整備とありますが、関市や瑞浪市では空き店舗を改装して若者のチャレンジができる場の整備を行っています。活性化には必要な取組みとして考えていますが、商店街単体では本業もありこのような取組みは出来ていない状況となっています。商店街の個々の店舗も頑張るが、若者がチャレンジできる場の整備や環境整備をこの事業の中に盛り込んでいただけるとありがたい。

千葉県流山市では「母になるなら流山市」というキャッチコピーを掲げ、子育て支援策を充実させて人口が急増したという話を聞きました。商業の目線で、恵那市でも若者が起業・創業するなら恵那市と言われるような取組みが必要だと考えています。中心市街地活性化プロジェクトでは実効性のある政策を考えていただきたい。」

○会長「これまで中心市街地活性化法における取組みは商店街の若者が中心となって行われてきています。そのため若者が活動しやすい環境づくりが重要になります。また外部からの意欲者を取り入れる方向性も考えられますが、委員はどうお考えですか。」

○委員「起業を考えている人を巻き込むのは必要だと考えます。そのために若者がチャレンジしやすい環境を整えることが重要だと思います。具体的に空き店舗等の既存の施設をうまく活用して、家賃を安くする、または補助をすることで低廉な価格で提供することにより、若者がチャレンジし易い仕組みを考えていただきたいと思います。」

○会長「商店街に新たな集客店を作ること、一つだけではなく既存のものを組み合わせによって、スタートアップをしたり試したりできる仕組みも検討しても良いと思います。」

○委員「P5のスポーツ合宿旅行誘致プロモーションについて内容は問題ないですが、笠置峡はトライアスロンに最適な場所だという意見があり実際に岐阜県、愛知県の本体強化チームが合宿を行っています。このようなことを踏まえ単なる合宿のみではなく、トライアスロンやサップも含めた大会の誘致に繋がる取組みも研究して欲しいと思います。また一歩進めて飯地のキャンプ場や恵那峡の車中泊を絡めた取組みも今後検討を進めて欲しい。

つづいてP5の観光コンテンツ充実事業についてですが、宿泊を促進するためにホテル等を整備するには時間が掛かり簡単なことではないため、

恵那市の魅力である自然を活かして手早く整備できるのは、車中泊スポットやグランピングだと考えます。イタリアにアルベルゴ・ディフーズという考え方があり、町の中にホテルが点在しているという意味になります。参加するには承認が必要で日本では唯一、岡山県矢掛町が承認を受けています。恵那市でもアルベルゴ・ディフーズを取り入れるための取組みも検討していただきたい。

つづいて P6 の台湾観光客の受入事業になります。台湾人観光客の大半は4泊で旅行にきて、夜到着の朝帰りのため内2泊はセントレアで泊まる内容となっています。その部分を考慮し事業を実施していただきたい。

つづいて P6 の恵那峡「大井ダム・発電所」完成 100 周年記念事業になります。2年後も開催となりますが、遊覧船から下流に行ったところにヘドロが溜り葦が生えている。1985 年からヘドロの撤去を行っていないということであるため、100 周年を機に関係機関と調整してヘドロの撤去を検討していただきたい。」

○会長「委員からは具体的なお意見をいただきました。発言のあった内容を事業実施の中で検討をいただきたい。」

○委員「ビジョン内容は誰も否定ができない内容となっていますが、6 つの戦略に 18 の施策が付いている。全てを満遍なく取り組むより優先順位を決め集中して事業を進めた方がより効果的だと思うので選択と集中の視点で事業に取り組んでもらいたい」

○会長「項目毎に優先順位を付けてどこに比重を置くのかという観点も重要となります。ただし選択と集中をやりすぎると将来の目を摘んでしまうため気を付ける必要があります。体系付けをして将来を描写しながら優先順位を付け選択と集中の視点を意識して取り組んでいただきたい。」

○会長「貴重なご意見をいただきありがとうございました。本日委員の皆さまからいただいた意見を検討していただき、新ビジョンの実現に向けて取り組むよう事務局をお願いします。

以上で全ての議事が終了しましたので事務局へお返しします。」

6. 今後のスケジュール

○事務局「貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。本会議において施策の方向性や取り組む事業について確認することができましたので、ビジョンの

策定に向けてパブリックコメントを実施し、3月のビジョン確定に向けて進めていきたいと考えています。また下部組織である戦略策定部会及び戦略実施部会も開催し、優先順位等の本日委員の皆さまから頂いたご意見を検討していきたいと考えています。次回の産業振興会議は進捗状況に応じて開催させていただきたいと考えていますので引き続きご理解ご協力をお願いします。

7. 閉会

○事務局「以上をもって第2回恵那市産業振興会議を終了させていただきます。」